

● **内政**

1 財務省、政府支出の約25%が債務の返済に充てられていることを発表

財務・国家開発省は、8月の政府支出が137億クワチャ（7月期：118億クワチャ）になったことを発表した。内訳としては、国内向け債務・国外債務の返済用途として37億クワチャ（7月期：29億クワチャ）が支出されたことに触れた。これは政府支出の約25%に相当する。（9月11日付 Times of Zambia）

2 大統領、国民議会の開会にあたり演説

9月8日、ヒチレマ大統領は第13回国民議会の第三期開会にあたり、国民議会で演説を実施した。演説の中でヒチレマ大統領は、政権を担った2年間での実績について触れるとともに、汚職の撲滅、地方創生のための基金（CDF）を活用した地方の更なる活性化を進める意向が示された。同時に、教育無償化に伴い就学児童数が増えたことにより教員不足が続いているため、4,500人の新規雇用が発表された。（9月9日付 Times of Zambia）

3 国際NGO、現政権の汚職対策の具体化を要望

国際NGOであるトランスペアレンシー・インターナショナル・ザンビアは、ヒチレマ大統領の国民議会での発言を踏まえ、同政権の汚職対策・ガバナンスに関する取組についてポジティブな側面を認めつつ、体系立てた戦略を以て対応に臨むべきと評した。（9月11日付 News Diggers）

4 副大統領、ルング前大統領に対して自身の立場を明確にするよう答弁

ナルマンゴ副大統領は、国民議会での質疑対応の中で、ルング前大統領（当館注：前大統領であるルング氏について、政界復帰し次期大統領選挙に出馬するか否かが当地メディアを賑わせている。）

について、ルング前大統領が政界に復帰をする自由はあるが、その場合自身の立場を明確化すべきであり、自身が引退するという書簡を取り消す必要があると述べた。元大統領に与えられる各種恩恵についても、政界復帰するのであれば与えられるべきでなく、法や規則に則った行動を求めた。

（9月23日付 Times of Zambia）

5 ザンビア統計局、貧困率が増加したとする2022年版貧困評価報告書を発表

ザンビア統計局（ZAMSTATS）は、2022年貧困評価報告書を発表した。同報告書によると、貧困レベルは2015年の54.4%から60%に増加している。農村人口の78.8%が貧困であった（2015年は76.6%）一方で、都市部の貧困レベルは31.9%（2015年は23.4%）であり、財務・国家計画大臣は統計値を基に、国民の生活・福祉向上のための施策を検討すると述べた。（9月25日付 News Diggers）

6 大統領、情報・メディア大臣を解任

9月25日、ヒチレマ大統領はカサンダ情報・メディア大臣を解任した。後任には与党UPNDスポークスパーソン兼南部州大臣のコーネリアス・ムウィートワ氏を充てる。また、情報・メディア省及び水産・畜産省事務次官を更迭するとともに、新任の監査総監としてロン・ムワンバ氏を議会に推薦した。（9月26日付 News Diggers）

7 国民議会議長、全国国民議会議員の資産を報告するよう制度改正

ムッティ国民議会議長は、従前議長・副議長・大臣のみに求められていた司法長官への資産報告について、全議員にも任命直後に資産公開を必要とするよう、制度改定を行ったと発表した。（9月27日付 Times of Zambia）

8 大統領、新任の情報・メディア大臣に対して国民へのより積極的な情報公開を求める

9月27日、ヒチレマ大統領は新任のコーネリアス・ムウィートワ情報・メディア大臣に対して、国民に対する情報公開を積極的に実施し、政府の取組の広報を適切に実施するとともに、国民の疑問について丁寧に回答するよう求めた。(9月28日付 Daily Mail)

9 財務・国家計画大臣、2024年政府予算案を公開

9月29日、ムソコトワネ財務・国家計画大臣は国民議会に於いて2024年度政府予算案を公開した。各地域に配布されるCDFが約9%増額されるとともに、所得税の源泉徴収課税最低基準額が4,800クワチャから5,100クワチャへ上昇することとなった。一方で市民からの要望が多かった高騰するガソリンに対する補助金については、予算が潤沢ではないため、実現のためには既存予算のうち教育無償化予算を取り崩す必要があり、実施が不可能である旨を述べた。(9月30日付 News Diggers)

● 外交・対外関係

1 カナダ国際開発大臣、ザンビアを訪問

カナダの国際開発大臣であるアーメッド・フッセン氏はザンビアを訪問し、主要閣僚と会談を実施した。その中で、債務再編に関する引き続きの助力が表明されるとともに、ロシア・ウクライナ戦争に関してのザンビアの平和希求に対する感謝及び気候変動の影響が甚大なアフリカ地域に対しての支援プログラムが発表された。ザンビアに対しては440万ドルが供与される。(9月8日、9日付 Times of Zambia)

2 米国、ザンビア陸軍に対してヘリ4機を供与

米国は、米国アフリカ軍司令部 (AFRICOM) を

通じて、新規に4機のヘリをザンビア陸軍に対して供与すると発表した。供与されたヘリは、ザンビアが多数の部隊を派遣しているPKOミッションや、地域安定のために使われる見込み。また、同発表と併せ、米国は今後少なくとも3年間総額8,000万ドル(約15億クワチャ)の訓練と整備に取り組むと発表された。(9月12日付 Daily Mail)

3 ザンビア、UAE・カタールに大使館を新設

ザンビア政府は、UAE及びカタールに大使館を開設することを発表した。現在UAEについては在エジプト大使館が、カタールについては在サウジアラビア大使館が兼轄をしているが、両国との経済連携の深化を見据え新設する。(9月14日付 Daily Mail)

4 グローバルファンド、ザンビアに3億6千万ドルを供与

スイスを本拠とするグローバルファンド(世界エイズ・結核・マラリア対策基金)は、ザンビアに対し2024年から2026年にかけて、保健衛生対策として3億6,000万ドルの供与を発表した。既に16億ドルが供与されているが、保健衛生向上のため追加供与される。(9月15日付 Daily Mail, Times of Zambia)

5 大統領、中国を公式訪問

9月10日から16日にかけて、ヒチレマ大統領は、習近平国家主席の招待を受けて中国を公式訪問した。ヒチレマ大統領は中国各地の訪問を行った後、北京にて趙楽際全国人民代表大会常務委員会委員長、李強首相及び習近平国家主席との会談が実施された。会談後、共同声明が発出され、ザンビアと中国は両国関係を包括的戦略協力的パートナーシップへ格上げすることなどが発表された。(主要各紙)

6 カクボ外相、第78回国連総会で演説

9月26日、カクボ外相はヒチレマ大統領の代理として、国連総会で演説を実施した。演説の中でカクボ外相は、アフリカ大陸内の紛争とロシア・ウクライナ戦争に対しての非難、アフリカの意思を反映できるような安保理改革の必要性、核不拡散条約の遵守、化学兵器・生物兵器などの撤廃について述べた。また、ザンビアが債務再編を実施できたことに対し関係国に感謝が述べられるとともに、国際金融機関や開発銀行が、後発開発途上国への譲許的融資の規模を拡大することが必要と訴えた。(9月27日付 Times of Zambia, News Diggers)

7 大統領、SADC 特別オーガン・トロイカ会合を開催

9月27日、ヒチレマ大統領は、SADC 特別オーガン・トロイカ会合をオンライン開催した。会合の中では地域安全保障について話し合われた。また、8月に実施されたジンバブエ総選挙に派遣された SADC 選挙監視団 (SEOM)、特に団長であるザンビア元副大統領に対するジンバブエ与党と政府に対する懸念が表されるとともに、SEOM に対する信頼の表明とリーダーシップの賞賛が表された。今後の選挙監視に悪影響が出ないよう、支援を継続すると発表された。(9月30日付 Times of Zambia)

(了)